

教育長室からのお知らせ No. 92(令和 5 年 3 月)



教育長 田中 廣史

今年度も残すところ 1 か月となりました。新型コロナウイルス感染症の感染者は減少傾向にありますが、季節性インフルエンザやノロウイルスなどの感染症についても引き続き注意が必要です。安心して新年度を迎えられるよう、手洗い、うがい、十分な睡眠とバランスの良い食事、室内の湿度管理や換気など、感染症に負けない健康づくりをお願いします。

令和 5 年 2 月市議会定例会が 2 月 15 日に開会しました。冒頭、市長による施政方針演説では、子どもたちの成長を社会全体で支えていくことが大切であることや、「市民目線」「現場主義」という視点が示されました。

教育委員会を代表して述べた令和 5 年度教育行政運営方針について、概要をお知らせします。生涯学習については、図書館内の学習スペース確保や自動車図書館など快適に利用できるサービスの充実を図ること、北下瓦窯跡の公有化の推進、国府台公園野球場の建替えに伴い国庁関連遺構の発掘調査を継続することなどを述べました。学校における学びについては、デジタルツールを柔軟に活用して、指導の個別化、学習の個性化、協働的な学びを進めること、体力向上や食育、体験活動の充実を図り、包括的な健康教育を推進することなどを述べました。教育環境の整備については、いじめの未然防止の対応や不登校児童生徒が安心できる居場所づくりなど誰一人取り残さない学校づくりに努めること、放課後も安心して過ごせる居場所を用意し様々な学びや多様な体験活動等の機会を提供すること、学校給食費の無償化を令和 5 年 4 月から市立学校全 55 校で実施することなどを述べました。

本議会での質疑応答を一部紹介します。

「学校体育館のエアコンとトイレの整備について、令和 5 年度は、小学校 7 校への体育館エアコンの設置、中学校 3 校での体育館トイレの整備を進めてまいります。文化財の保護・活用について、存在や魅力を広く市内外に知ってもらえるよう周知に努めます。」

令和 5 年度は、次期の市川市教育振興基本計画の策定を予定しています。教育により目指す姿を明確にし、家庭・学校・地域と共有し、一体となって、子どもたちを守り育ててまいりたいと考えております。

2 月 10 日、市内中学校の特別支援学級の生徒 48 名が行徳文化ホール I & I に集い、令和 4 年度市川市中学校特別支援学級合同「卒業生を送る会」が開催されました。卒業生からは 3 年間の思い出や進学先で勉強したいこと、将来の夢などが一人一人の言葉で語られ、表情からも次のステップへ進むことへの期待が感じられたとのことです。緊張しながらも卒業生としての立派な態度や立ち振る舞いを見て、保護者の方は感動し、涙を拭う姿も見られたそうです。担当者一人は保護者の方々に参観していただけたことは、3 年間制限を強いられてきた生徒や保護者の方々にとって、何よりも良かったと話しておりました。特別な教育課程で学んでいる子どもたちも、必要な配慮や支援を提供することで自身が持てる力を存分に発揮することができます。この行事は、各学校で様々な背景を持つ子どもたちが自己肯定感をもって学び育つために必要な支援のヒントになるものです。全ての子どもたちが輝く姿を見せられるように支えてまいります。

今後も保護者や地域の方々、教職員と力を合わせてより良い学校教育の実現を目指してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。